

- 1 音楽科研究主題 自分の思いを表現し、楽しく音楽活動に取り組む生徒の育成
- 2 題材名 曲にふさわしい表現を合唱で追求しよう（7時間扱い）
 教材 「あすという日が」 山本 瓊子 作詞／八木澤教司 作曲（歌唱）
 「夢を抱いて」 富岡 博志 作詞／作曲（歌唱）

3 題材について

(1) 学習指導要領との関連

第2・3学年	A表現	(1) ア	歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。
		イ	曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。
		ウ	声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。
〔共通事項〕		ア	音色 リズム 速度 旋律 テクスチャ 強弱 構成
		イ	拍子 フレーズ Allegro rit. ff 三連符 二分休符 全休符

(2) 題材観

音楽を表現することは、曲がもっている表情を演奏者が演奏者自身の感性で汲み取り、考え、自らの心情と合わせて聴き手に迫っていくことだと考える。音楽活動の中で、最も取り組みやすく、また、仲間と協力して仕上げる混声合唱は、中学生にとって大きな感動を得る最適なものである。個性を伸ばすことが大切であると言われている現代社会の中で、集団で同じ目標に向かっていく合唱は、個性を埋没させるのではなく、互いの感性の違いを知り、自分の個性に気付き、そして個性を生かすことができる大きな価値のあることだと思う。小学校時代の同声合唱から、中学生になり味わう混声合唱のハーモニーは、より厚みのあるハーモニーとなる。重厚な響きを味わうことのできる合唱を経験することで、音楽的な感受性や広がりも期待できる。本題材を通して、音楽のよさを感じ、歌唱表現の技能を伸ばし、主体的に音楽活動に取り組むことのできる生徒を育てたい。

本題材は、学習指導要領〔第2学年及び第3学年〕2内容「A表現」(1)ア、(1)イ、(1)ウを中心に、〔共通事項〕との関連を図りながら学習を進めるものである。(1)アでは、イメージをどのようにもったのか、どのような感情をもったのかという根拠を、歌詞そのものや、〔共通事項〕の旋律と強弱とのかかわり、速度やリズムといった要素の働きの中に探すことにより、曲にふさわしい表現がどういう表現であるのかを理解させていきたい。歌詞の内容に共感したりそれが表す情景に思いを馳せ、歌詞を音楽で表現することによって、生徒が一層関心をもったり、歌詞と音楽とが様々に影響し合っただけでなく、楽曲としての表現が生み出されることに気づく過程を経て、表現の工夫をする活動につなげることが大切であると考え。(1)イでは、詩を読んだときに、言葉のもつ意味を考え、イメージし、音楽的な表現方法を追求していく過程が必要である。どのようにすれば、言葉をより豊かに音楽的な表現にすることができるか、言葉の抑揚や、子音・母音を意識した学習につなげていきたい。(1)ウでは、各声部がどのようにかかわり合っただけでなく、全体の響きが生まれているのかを、〔共通事項〕のテクスチャをもとに探り、声部と全体とのかかわりに着目した学習をめざしたい。歌声だけでなく、指揮者、伴奏者も声部の一つであることを理解させ、全体の響きが総合的な響きを指すことを考えさせたい。さらに、音楽に対する自分のイメージ、思いや意図を発表する活動を通して、音楽に対する価値について、音楽の要素や構成から根拠を示しながら言葉で表現する力も身に付けさせたい。

本題材の教材は、今年度の合唱コンクール課題曲（全学年共通）「あすという日が」とクラス自由曲「夢を抱いて」である。どちらも歌詞の内容は前向きであり、生徒にとって共感できる曲で、歌う人にとっても聴く人にとっても強いメッセージ性をもっている。また、2曲の速度が異なることや、強弱の指示も明確であることなど、「歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと」を学習するには適した教材と言える。また、三声部のパートや旋律の組み合わせ方によるテクスチャを感じ取り、「声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌う」ことのできる創意工夫に結び付ける力を養うことができる合唱曲である。楽曲を通して、生徒一人一人が何かを感じ、音楽がわかり、音楽的な表現ができることで、自分の思いを表現し、楽しく音楽活動に取り組む生徒を育てたい。

(3) 指導内容の系統

小学校5年・6年	中学校1年	中学校2年・3年
楽譜を読もう 曲想を味わおう 和音の美しさを味わおう 詩と音楽を味わおう A表現 (1) ア イ ウ エ [共通事項] ア (ア) (イ) イ	曲にふさわしい表現を混声合唱で追求しよう ・歌詞の内容や曲想、声部の役割や全体の響きを感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 A表現 (1) ア イ ウ [共通事項] ア イ	曲にふさわしい表現を混声合唱で追求しよう ・歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 A表現 (1) ア イ ウ [共通事項] ア イ

中学校で新たに出会う混声合唱は、小学校で学習した同声合唱と比べ音域も広がり、厚みのあるハーモニーへとつながる。中学2年生ともなると、1年生時に比べ、変声期を終えた生徒も増え、安定した響きを味わうことができる。また、音楽経験の積み重ねや合唱コンクールなどの発表により、その合唱技術も向上していく。ここでは、混声合唱を通して、合唱の豊かな響きや諸要素を生かした表現を深め、楽曲のよさや特徴を感じ取り、合唱表現の技能を伸ばし、主体的に音楽活動に取り組むことができるようにさせたい。さらには、3年生次の合唱の集大成となるべく、その過程としての位置付けも考え、取り組ませたい。

(4) 生徒の実態 (男子20名、女子20名、計40名 特別支援学級生徒交流含む)

とても明るく素直な学級であり、意欲的に学習に取り組むことができる。互いのよさを認め合いながら、協力し合って活動することができるが、じっくり考えて学習に取り組むことや地道に努力することは苦手である。歌唱活動では意欲的に取り組み、クラス全体で楽しく歌うことはできるが、大きい声で歌うことを好み、男声パートは音程の不安定さ、女声は声の響きにおいて発声の課題が見られる。合唱活動において、一生懸命に取り組むものの、音程の不確かさからハーモニーの響きを味わうまでには至っていない。

本題材に関連して行った、1年生次の既習事項の評価を含む実態調査結果は次の通りである。

- ア. 歌を歌うことが好きである。合唱コンクールに前向きに取り組みたい。
- イ. 歌詞の内容や曲の雰囲気に変化に関心をもっている。
- ウ. 音楽の諸要素の働きを知覚している。
- エ. 曲をどのように表現するか思いや意図をもっている。
- オ. 音楽表現をするための技能を身に付けている。
- カ. 音の重なりを感じながら、合唱している。
- キ. [共通事項]を意識している。

実態調査から、ほとんどの生徒が歌うことが好きであると答えている。しかし、音楽表現の技能は、音程を正しく取ることは苦手だったり、発声が身に付いていないのが現状であり、アンケート結果と合致する。また、音楽の諸要素を感じ取り、自分の言葉で思いを伝えることは得意ではない。1年生時より音楽の諸要素との関連や言葉で表現することを意識しながら、歌唱・鑑賞ともに学習を進めてきたが、根拠をもって説明し、それを表現するまでは至っていない。

(5) 指導観

本教材は、混声三部合唱であり、各パートとも無理のない音域や比較的平易なリズムで構成され、それぞれの声部や音楽を形づくっている要素によって生み出される曲想の変化が感じ取りやすい。ハーモニーの美しさを味わうことができ、歌詞の内容や情景を理解することで、自己のイメージを十分にもつことができる。

そこで、この曲の特性を生かし、各声部の統一感や全体の響き、言葉、速度、旋律などの[共通事項]とのかかわりを理解させたい。合唱活動を通して、自分の思いや意図を伝え、友達の思いに共感し、それを音楽に生かしていくことの喜びを味わわせたい。そのために、思いや意図を伝え合ったり共感したりする指導を工夫し、音楽の諸要素とその働きを理解し表現へと結び付けるよう支援し、合唱コンクールという行事に向けてさらなるクラスの協力性や団結力を培い、音楽のすばらしさや喜びを体験させることの活動を考え、指導していきたい。

今回、小アンサンブル活動を取り入れることで、一人一人の思いを大切にしたい指導や、歌唱表現の技量を伸ばす指導を行いたい。グループごとに活動させることで、クラスの中での競争意識ももたせ、活性化を図りたい。グループ活動は、1年生次には行っているが、2年生では初めてのことであるので、意見交換やリーダーの役割など、不十分なことも考えられるが、具体的な活動の指示を出すことで、スムーズなグループ活動となるようにしたい。課題曲である「あすという日が」は、東日本大震災後に一躍有名となった曲でもある。震災時に避難した生徒もいることから、有名になった経緯や歌のすばらしさについても考えさせることで、表現への手助けとしたい。自由曲である「夢を抱いて」はクラスで選曲した曲である。「夢」は生きていく上で大きい力を与えてくれるものであり、人が人として一生懸命に生きていこうとすればするほど、困難や障害が数多くあるのも事実である。しかし、抱いた「夢」を心の支えに、安易に負けることなく、どんな時でもがんばり続け、前向きに生きていこうという内容は、生徒の心情に揺さぶりをかけるものであり表現をする過程で、そのまま歌詞がいきっていく。歌詞と音楽とを結び付けることで、自分の思いや意図を伝え合ったり、共感したりしながら、より表現を充実させるものにしていきたい。そして、曲にふさわしい表現を工夫させたい。

4 題材の目標

○歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。

5 題材の評価規準

	(ア) 音楽への関心・意欲・態度	(イ) 音楽表現の創意工夫	(ウ) 音楽表現の技能
題材の評価規準	○歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌うことに主体的に取り組もうとしている。	○音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように表現するか思いや意図をもっている。	○歌詞の内容を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。
学習活動における具体的評価規準	①楽曲のよさや特徴に関心を持ち、互いの思いを伝え、共感しながら意欲的に取り組もうとしている。 ②声部の役割や全体の響きに関心を持ち、意欲的に表現しようとしている。 ③歌詞の内容やその背景にある情景や心情に関心を持ち、イメージを考えながら、思いや意図を伝えようと主体的に取り組もうとしている。	①音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように表現するか思いや意図をもっている。 ②声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、調和のとれた音楽表現の工夫をしている。 ③音楽を形づくっている要素、歌詞の内容や構成、曲の背景や心情を理解し、どのように表現するか、思いや意図を伝え、共感し、合唱表現の工夫をしている。	①曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能（発声、発音、音程等）を身に付けている。 ②各声部の役割や他パートとの音の重なりを感じながら、全体の響きと調和させるように表現している。 ③音楽を形づくっている要素とその働きによる曲想の変化を生かしながら、歌詞の内容にふさわしい歌い方で表現している。

6 指導計画（7時間扱い）

過程	○ねらい ・学習活動 ☆ [共通事項]	評 価
1 ・ 2 ・ 3 時	<p>○曲全体の雰囲気や特徴などを感じ取り、自分のパートの音程やリズムを把握する。</p> <p>○音楽を形づくっている要素を知覚しながら、自分の声部の役割を理解しながら歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の朗読や、範唱を聴き、曲のイメージをつかむ。 ・曲趣や歌詞の内容を知覚し、主旋律を把握しながら、自分のパートを歌う。 <p>☆音色・リズム・旋律・強弱・構成 楽曲の特徴や音の重なるの美しさに気付く。</p>	<p>(ア) ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の構成、曲想の変化、歌詞の内容など、楽曲のよさに関心を持ち、互いの思いを伝えあい、意欲的に取り組もうとしている。 (観察、発表) <p>(イ) ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽が形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 (観察、発表) <p>(ウ) ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい音程とリズムで強弱や構成を生かして歌っている。 (観察、演奏聴取)
4 ・ 5 ・ 6 時 (本時 1 / 3)	<p>○歌詞の内容や音楽を形づくっている要素による曲想の変化を感じ取って、声部の役割を意識しながら表現を工夫する。</p> <p>○全体の響きを意識しながら歌い合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸要素や曲の構成を考えながら、様々な表現を創意工夫する。 ・小アンサンブル活動を通し、意見を出し合いながら、表現の工夫を考える。 ・各声部の役割を意識し、ハーモニーの確認しながら合唱する。 <p>☆音色・旋律・テクスチャ・強弱・構成・フレーズ 音楽の様々な要素を理解し、その働きによる曲想の変化に気付く、工夫する。</p>	<p>(ア) ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声部の役割や全体の響きに関心を持ちながら意欲的に表現しようとしている。 (観察、演奏聴取) <p>(イ) ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を理解し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように表現するか思いや意図をもっている。 (観察、ワークシート、演奏聴取) <p>(イ) ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声部のや役割と全体の響きを理解して、音楽表現の工夫をしている。 (観察、演奏聴取) <p>(ウ) ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各声部の役割や他パートとの音の重なりを感じながら全体の響きと調和させるように表現している。 (観察、演奏聴取)
7 時	<p>○思いや意図をもった表現を工夫して合唱を仕上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の構成を考えながら、創意工夫した表現を聴き手に伝わるように、合唱練習をする。 <p>☆音色・旋律・テクスチャ・強弱・構成・フレーズ 歌詞の内容や諸要素による曲想の変化を生かし曲にふさわしい表現で合唱する。</p>	<p>(ア) ③ (イ) ③ (ウ) ③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容やその背景にある情景や心情、楽曲のイメージを、音楽が形づくっている要素とかかわりながら、曲にふさわしい表現で合唱をしている。 (観察、発表、演奏聴取、ワークシート)

7 本時の指導

(1) 目標

○歌詞の内容や音楽を形づくっている要素による曲想の変化を感じ取って、声部の役割を意識しながら表現を工夫する。

(2) 教科の研究仮説との関連

音楽科の研究仮説

(2)喜びの体験・知識・技能・能力を音楽活動を通して身に付けることにより、「感じること・わかること・できること」が積み重なり、楽しく音楽活動に取り組むであろう。

音楽と楽しく関わるという特性からも、知識、理解、技能の習得だけに終わるのではなく、生徒が主体的に活動できるようにしたい。歌詞の内容や曲のよさ、音楽の構成を、〔共通事項〕とのかかわりを考えることにより《音楽を感じる学習》、個々の思いを認める場を設定することで《音楽がわかる学習》、そしてその積み重ねによる《音楽ができる学習》としたい。基礎的・基本的な知識を習得するために、〔共通事項〕を意識した学習を重ね、成就感、達成感を味わわせることは活用となるであろう。

本時では、合唱活動の際に行われるパート別練習、全体練習といった活動の他、小アンサンブル活動を取り入れ、グループごとに歌詞の内容を考えたり、曲想を感じ取ったり、歌唱表現をすることで、一人一人の思いを大切にさせ、個人の音楽的な技量を伸ばすようにしたい。一人一人が大切にされること、意見が反映されることで、音楽を愛好する心情も育ち、音楽に対する感性も伸びるであろう。苦手意識を持っている生徒に対して、この部分が好き、おもしろそうという感覚を育てること、友達の意見を楽譜へ記入することで、前向きに取り組んでいくようにさせ、そこから基礎的・基本的な知識や技能が習得できるように指導していきたい。

(3) 展開 (4/7)

学習活動と内容	時配 (形態)	○指導上の留意点 ◎基礎的・基本的な知識・技能の定着 ※評価 (観点：評価方法)	〔共通事項〕 の扱い	資料
1 曲趣をつかみながら「夢を抱いて」を歌う。 ○音程を確認しながら歌う。 ○歌詞を大切に歌い、イメージを膨らませる。 ・大きな声で楽しく歌う。 ・まだしっかりと音程がとれていない。 ・フレーズの入りがばらばらである。	10分 (一斉)	○明るく、のびのびと歌わせることにより、歌おうという前向きな学習の雰囲気づくりをする。 ○イメージや感情を膨らませるために「夢」「抱く」について発表させ、友達の意見を聞き、共感させることで音楽づくりの一助とする。 ○音楽のもつイメージを、音楽の要素との関連を知覚しながら歌わせる。 ○男声は音色を意識して歌うことが苦手であるので、助言及び指導をし、音色を意識させたい。 ◎イメージを、音楽の要素をヒントにして考えさせる。『「○○ (音楽の要素)」が「○○ (音楽の様子)」だから「○○ (自分の思い)」だ』という例を提示することで基本的・基礎的な知識の定着を図りたい。	音色 リズム 旋律 強弱 Allegro 様々な要素の働きによる曲想の変化に気付く	イメージをもつための情景画
2 「あすという日が」を曲想の変化を感じ取りながら合唱する。 ○曲想表現を考えながら歌う。 ○響きを感じながら歌う。	5分 (一斉)	○これまでの練習の成果として合唱させるとともに、現状の課題を考えさせたい。 ○客観的に自分たちの合唱を聴くこと	曲にふさわしい表現の工夫をする	合唱録音する

<ul style="list-style-type: none"> ・強弱がついていない。 ・歌詞の内容を表現できていない。 		<p>ができるようにするための資料とするために、録音することを伝える。</p> <p>○生徒の指揮、伴奏で合唱させ、歌うことへ意欲を示さない生徒のそばと一緒に歌い、関心をもたせる。</p> <p>◎表現が不十分な部分、音程の不安定な部分は、その場で助言及び指導をし、習得できるようにする。</p>	<p>ための機器</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>聴いている人が感動する合唱にするためには、どのような表現を工夫すればよいのだろうか</p> </div>			
<p>3 「あすという日が」のよりよい表現を求めてグループごとに練習する。</p> <p>○録音を聞き、気付いた点を発表し合い、よりよくするために必要なことに気付く。</p> <p>○音楽の要素にかかわりながら話し合い、練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩のイメージに合わせて歌う。 ・曲の山場はここである。 ・この部分は、だんだん大きくしていきたい。 ・しっかりのばすことで、曲の雰囲気が生きてくる。 ・音程がとれていないから、合唱の響きが今ひとつ。 ・フレーズの出だしがバラバラ。 ・この部分を少しゆっくりするとかっこよくなりそう。 ・登場人物は誰だろう。 ・こんな色のイメージ。 	<p>15分 (グループ)</p>	<p>○学級を3グループに分け、それぞれのグループごとに、よりよい表現を考えさせる。グループはパートごとではなく、ソプラノ、アルト、男声と3パートが一緒になったグループとする。</p> <p>○録音を聴くことで、自分たちの合唱の表現の足りない部分を考える。</p> <p>○グループごとに発表することを伝え意識をもって活動させる。また、要点をしばって表現の工夫にのぞませる。</p> <p>○グループでの活動の中で、自分の声部の役割を意識させ、全体とのかかわりを感じ取らせたい。</p> <p>○グループの中で一人一人が意見を言える雰囲気を作ることができるようグループごとに助言する。また、個人のイメージや考えが大切であることを伝える。</p> <p>○それぞれのグループの活動状況により、補助発問で生徒の思いを引き出したり、よい点については発表するように促したりする。</p> <p>○リーダー格になる生徒には、活動のリードをさせ、率先して表現できるように促す。</p> <p>○M、Uの生徒には、友達の意見を楽譜に記入することを促し、活動に参加する意識を持たせたい。W、a、d、g、j、lの生徒には、好きな部分に印をつけることを助言し、どうして好きだと思ったのか考えるようにさせたい。</p> <p>◎「どの部分を」「どのようにしたい」という助言をすることで、活動が明確になるようにする。</p> <p>※音楽を形づくっている要素を理解し</p>	<p>リズム 旋律 強弱 構成 フレーズ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>様々な要素の働きによる曲想の変化に気付く</p> </div>

(4) 本時の評価

評価の判断	生徒の様子と教師の働きかけ
おおむね満足と判断される生徒の姿	歌詞の内容や音楽を形づくっている要素による曲想の変化を感じ取り、自分の思いや意図を伝え合い、共感して表現の工夫をしようとしている。
努力を要する学習状況と判断される生徒に対しての手立て	自分の考えを伝えることができるように、曲の背景を提示したり、ワークシートの記入方法を工夫して、表現の工夫に参加できるように支援する。

(5) 板書計画

<p>〔今日の学習〕</p> <p>合唱コンクールに向けて ♪歌に生命を吹き込もう</p>	<p>〔今日の課題〕</p> <p>「夢を抱いて」 富岡 博志 作詞 富岡 博志 作曲</p>	<p>「あすという日が」 山本 瓊子 作詞 八木澤教司 作曲</p>	<p>Aグループ</p> <div data-bbox="1053 504 1340 616" style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>
<p>課題曲</p> <p>「あすという日が」 自由曲 「夢を抱いて」</p>	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<p>聴いている人が感動する合唱にするためには、どのような表現を工夫したらよいだろうか。</p>	<p>Bグループ</p> <div data-bbox="1053 660 1340 772" style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>
<p>情景画</p>	<p>Cグループ</p> <div data-bbox="1053 817 1340 929" style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>		